



育児休暇を終えて

湘南シルバーガーデン リハビリテーション科 日比野 寧友

会員ライフサポート部 第27報
活動報告

今回は、育児休暇を終えて職場に復帰し、子育てと仕事の両立を始めたばかりのPT・OT夫妻より、リアルタイムの奮闘記をお聞きすることができたのでご紹介します。まだ他人事とお思いの方も、お読みいただければ参考になること間違いなしです！

“育児なめてました”今の状況を一言で言うとこの言葉につきます。この言葉はある漫画に出てくる一言なのですが、今の生活をまさに物語っています。妻が育児休暇を終えて約4ヶ月毎日忙しい日々を送っています。

妻は年中無休の回復期病棟の作業療法士、私は老人保健施設の理学療法士です。現在は子供を保育園に預け、仕事をしています。子供は育児休暇中は自宅で過ごしていましたが、去年の9月から保育園に預けています。無菌国家である自宅の生活から、多くのお子さんのいる保育園に行くことになって、よく風邪を引くようになりました。子供は毎週のように風邪をひき、咳と鼻水が一番の友達になってしまったようです。

風邪を引けば保育園からの連絡が入るのは当然なのですが、その迎えや子供が保育園を休まなければいけない時が困ることがあります。妻と私のどちらが迎えや休みを取るかということです。私たちの夫婦は両親がともに遠方にいるために、急なときは呼ぶことが難しい状況なのです。妻の場合は回復期病棟の作業療法士であり、担当の患者様がいるから、当然休む場合はフォローが必要になります。そのほかにもムンテラ、家屋評価などの予定が入るとなかなか休むことが難しいようです。私の場合は老人保健施設の理学療法士です。私の職場である老人保健施設は子供を持つスタッフが多いこともあり、担当制ではないので、他のスタッフにお願いすることは病院に比べると比較的スムーズに行えます。このような状態で日々生活をしています。では、この4ヶ月間の状況をご紹介します。

子供が風邪を引きますと、保育園から連絡が入り、迎えに行き、病院につれていきます。この後は緊急の家族会議が開かれます。そのお題は、どちらがいつ休みをもらうかというものです。現在までで一番ひどいときは1週間を交互に休みをもらい子供の看病をしたときもありました。これはもう大丈夫であろうと保育園に預けると風邪がぶり返した休むことになるということです。そんなことを繰り返すとあっという間に1週間が経ちました。子供の風邪だけならば、2人でカバーしあえますが、これで妻か私のどちらかに風邪が移ったときは大変なことになります。最悪なときは3人同時。これはもうどうしようもありません。最終手段はどちらかの両親に休みをとってもらうこともありました。お互いの仕事がありますから、病院と施設のスタッフには多大な迷惑をかけたと思います。

子供のいる家庭のサポートとしては、ファミリーサポートや

無給特別休暇などの制度がありますが、これの使い方もどのようにして使っていけばいいのか正直なところわからないこともまだまだあります。私たち夫婦の考えでは、簡単に“どちらかが休めばいいんじゃない”と思っていましたが、現実ではなかなか難しいのも事実です。今、考えれば、育児休暇中にいろいろなサポートの使い方を勉強しておけばよかったと思っています。後はこのような制度の情報収集もしておけばもっと生活がスムーズになっていたのかな、とも思っています。

育児と仕事の両立をしていくのは大変なことであると、今さらながら実感しています。子供の笑顔と病院、施設のスタッフに支えられながら今日も育児と仕事に奮闘中です。

